

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	06	01	104660	地域スポーツ推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興	
	施策	01	生涯スポーツの推進			
目的	各地域における生涯スポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員等を配置しその活動を支援するとともに、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。					
対象	スポーツ指導員、スポーツ推進委員、地域スポーツ普及員、参加を希望する市民等					
意図	市民に広くスポーツへの関心を持っていただくとともにスポーツをするきっかけづくりを提供する。					
事業概要	地域スポーツ推進事業 14,187千円 スポーツ指導員の配置 スポーツ推進委員の配置（市内40名） 地域スポーツ普及員の配置（市内354名：各行政区選出） 早起きマラソンの開催（市内69会場） スポーツ教室、イベント等の開催 ニュースポーツ等の普及 ニュースポーツ交流大会の開催 スノースポーツフェスティバルの開催					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	早起きマラソン延べ参加者数	人	計画	155,000.0	155,000.0	
			実績	138,172.0	129,107.0	
2	市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数	人	計画	5,500.00	5,500.00	
			実績	5,963.00	6,775.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数	人	目標	191,000.0	191,000.0	
			実績	155,267.0	147,259.0	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
早起きマラソンの延べ参加者数やスポーツ少年団登録者数が減少しており、数値に大きく影響されている。花巻市体育協会が主催するスポーツ教室やスポーツ推進委員が指導するスポーツ教室の参加者数は昨年より増加しており、市民のスポーツへの関心は高まっていると考える。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民が生涯にわたり積極的にスポーツに取り組むため、市民のスポーツ参加機会を増加させる必要がある。そのためスポーツ団体と協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応したスポーツ教室などの開催を推進する。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	早起きマラソンの延べ参加者数は、少子化、高齢化の影響が大きく前年を下回っている。市内全域での取り組みを目指し、新規会場の設置等の取り組む。また、スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ教室等を充実させることにより、参加者数の増加が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	市民の将来にわたる健康増進、体力向上を図っていくため、より一層の充実を図る必要がある。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民がいつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむために、市民のスポーツ参加の機会を増やす必要がある。そのため、早起きマラソンを推進するほか、多様なスポーツ教室の開催を推進する必要がある。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	早起きマラソンの延べ参加者数の年々減少傾向である。少子化の影響によるところが大きいと考える。一方で花巻市体育協会等が実施するスポーツ教室への参加者数は増加傾向である。参加者の要望を取り入れて教室メニューを工夫することによって参加者数を増やしている。また、スポーツ推進委員を派遣しスポーツ指導を行う機会も年々増加傾向となっており、市民のスポーツをするきっかけづくりとなっている。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月6日からの市内スポーツ施設の制限などから、スポーツに親しむ機会が減少しており、例年どおりの事業推進は困難な状況となっている。今後の状況を確認しながら、段階的な事業推進を図りたい。

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	06	01	104670	地域スポーツ支援事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興	
	施策	01	生涯スポーツの推進			
目的	各地域における生涯スポーツの推進活動の支援のため、スポーツ団体等に対して助成する。					
対象	花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会、花巻市スポーツ少年団本部、総合型地域スポーツクラブ、実行委員会等					
意図	地域スポーツ（生涯スポーツ）の普及、健康増進、体力向上を図る。					
事業概要	地域スポーツ支援事業 23,546千円 花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会 地域スポーツ振興事業補助金の交付 （総合型地域スポーツクラブ等活動支援） 花巻市スポーツ少年団本部事業補助金の交付					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室等の実施回数	回	計画	320.00	320.00	
			実績	342.00	280.00	
2	スポーツ少年団本部への登録者数	人	計画	2,260.00	2,260.00	
			実績	2,141.00	1,930.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室の延べ参加者数	人	目標	6,000.00	6,000.00	
			実績	5,215.00	5,497.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
目標値には若干及ばなかったものの、体育協会、スポーツ少年団本部で実施するスポーツ教室等は参加者の要望を取り入れたメニューを工夫しており、教室数は減ったが、参加者数は増加傾向にある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民のスポーツ参加の機会を増加させるため、市体育協会・競技団体・総合型地域スポーツクラブなどと協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応した多様なスポーツ教室の開催を推進する。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	市体育協会及びスポーツ少年団本部主催事業によって、各種スポーツ教室の延べ参加者数は増加している。各種スポーツ教室の開催支援の継続により参加者数の一層の増加が図られる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	市体育協会のスポーツ教室事業やスポーツ少年団本部活動の一層の充実を目指すため、市体育協会を充実させ、企画や立案能力を高め、より充実させる必要がある。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民のスポーツ参加の機会を増加させるため、市体育協会・競技団体・総合型地域スポーツクラブなどと協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応した多様なスポーツ教室の開催を推進する必要がある。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市体育協会及び3町体育協会、スポーツ少年団本部への事業支援により、市民がスポーツに親しむきっかけづくりが行われた。
	次年度に向けて	市体育協会及び3町体育協会、スポーツ少年団本部へ引き続きの事業支援を行い、市民がスポーツに親しむきっかけづくりとして、市民の要望等を取り入れながら、さらに参加が増えるようなスポーツ教室等を実施する。